

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和8年1月13日
クラス名(年齢)	きりんぐみ(4歳児)、らいおんぐみ(5歳児)
年間テーマ	自然

1.活動テーマ

〈テーマ〉

季節の変化を感じる

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

様々な場所で見つけた植物の色や形の違いについて、興味を持つ姿が多く見られるようになった。

2.活動スケジュール

3～5歳児クラス24名で、近隣の公園へ散歩に行く。
0歳児クラスとの交流、もしくは公園内の探索を楽しむ。

3.環境をデザインする




お散歩バッグ(拾った自然物を持ち帰るための個人用)

4.探求活動の実践

〈活動内容〉

興味を持った子どもは広場内の自然探索を自由に楽しむ。
見つけた自然物を友達や保育者と共有し、興味や知識を深める。
形や色などの違いをじっくり観察できるよう、見つけた自然物は園に持ち帰る。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<p>・4歳児クラスのAが、「先生！桜があったよ。」と梅の花びらを保育者に見せに来る。保育者が「もう咲いているのね！どこにあったの？」と問いかけると、保育者をその場所に案内する。</p> <p>それを見ていた0歳児クラスの保育者が、「花びらの先はどんな形をしている？丸くなっているのは梅で尖っているのが桜なんだよ。」と知らせる。それを聞いたAは「あ！梅だ！丸いよ。」と0歳児クラスの保育者に知らせる。他児数名も一緒に花びら拾いを楽しむ。</p> <p>・他児数名も参加し花びら拾いを楽しむ。すると、Aが「見て！色が違う花びらを見つけたよ。」とピンクの花びらを見せに来る。</p> <p>・保育者が子どもたちに「拾った花びらはどうしようか？」と問いかけると、「お家に持って帰る。」と言う子どもが多かった。</p> <p>Aは、「保育園に飾る。」と言う。保育者が「どこに飾る？」と問いかけると、「廊下の地図に貼る。」と言う。</p> <p>Bは、「そうしたら、色々なクラスの子もどこでどんなお花が見れるか分かるね。」と話す。</p> <p>園に戻り、保育者と一緒に散歩マップに拾った花びらを貼った。</p>	  

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

同じ花でも、花びらの色が異なることに気付く姿があった。
今回、持ち帰った花びらの色は一色だった。「2つの色があったことも教えてあげたいね。」と保育者が声をかけると、様々なクラスの子と共有したいという気持ちが芽生えた様子だった。
マップに貼る花を画用紙につけた際、今回は植物の名前を保育者が書いた。
次回は子どもたちが書きたいと思えるように声かけをし、主体的に進められるようにしていきたい。また、次回は散歩先に図鑑等を持参し、その場で植物を調べられるようにする。